

## R6 年度始業式あいさつ

### サクラの風から

暖かくなり、甲山の緑が徐々に新緑の色になり始めています。4月の花の代表が「サクラ」。本校の校門から続く坂の道沿いにサクラの花が今まさに満開の頃を迎えているところです。

サクラの花言葉は何か調べてみましょう。「精神の美」「優雅なひと」うっとりするほど優美に咲く姿、咲いた後は、あっという間に葉をのばし緑にそまり、次の開花に向けた準備にはいる潔い姿を示します。一口にサクラと言っても様々な種類があり、各種類のサクラにも個別花言葉が存在します。それぞれのサクラの花の美しさに皆さんの姿と思いをかけて、生徒の皆さんがサクラの花のごとく個々の大切な時間が美しく輝くものになるよう言葉を贈ります。

高校は、友達とただ楽しく暮らすために来るところではありません。この先、高校後社会で自分を美しく輝かせるための力をつけるところです。一人でどのように生活していくかの力をつけるところです。

3年生は自身の進路を決める高校生活総まとめの年、2年生は昨年度1年間で培った力を自身にとって有益に活用する年となります。

時間は、人の思いにかかわらず動き刻み続け、次のステップに向けた踏み台となります。

以前「初心忘れるべからず」という言葉の真の意味と、言葉の言われについて話をしました。初心とは常に次のステップに向けての心構え、日々過ぎ去る時間の中で、自身が決めた行動目標の目標到達後の新たな目標設定と、その積み重ねを意味します。その実現を図っていることで、自分に力が着実についていくことを表わします。今の言葉でいうとバージョンアップやアップデートになります。この実行が、がかけがえのない存在である皆さんを輝かせ、大切に感じ、自立につながると考えています。今、述べている「力」の意味をしっかりとらえ令和6年度を過ごして欲しいと思います。

これをもって1学期始業式のあいさつとします。

令和6年4月8日  
兵庫県立西宮甲山高等学校  
校長 田中 優至